



# WEEKLY REPORT

高山中央ロータリークラブ

2024～2025 年度 高山中央 RC 会長テーマ

美しい調和 「beautiful harmony」



◆会長 堀口 裕之 ◆幹事 高橋 厚生 ◆会報委員長 中屋 出 ◆会報担当 中屋 出

創立 1991 年 5 月 20 日

<出席報告>

◇事務局 高山市本町1-2

飛騨信用組合本町サテライト出張所 3階

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

	会員数	出席会員	出席数	Make-up	出席率
本日 1367 回	53 名	53 名	43 名	—	81.13%
前々回 1365 回	55 名	55 名	40 名	1 名	74.55%

●点 鐘

●ロータリーソング

●四つのテスト

●ゲストおよびビジターの紹介

国際ロータリー第 2630 地区

会員増強委員会 委員長 亀井 和彦 様

●会長の時間 会長 堀口 裕之

我らの生業

今日は 8 月のロータリー特別月間テーマが会員増強・新クラブ結成推進月間であることにより会員維持増強/会員選考/職業分類委員会による地区会員増強委員会 委員長 亀井和彦様をお迎えして当クラブから地区に出向しております地区 DE I 推進小委員会委員 西美紀さんと共に卓話を予定しております。



亀井委員長は現在可児ロータリークラブの会長であり、お忙しい中でのご来訪でございます。大変ありがたく思うと共に本日が当クラブにとって有意義な例会となりますことを心の底から願うものでございます。

会員増強のポイントとして公共イメージの向上があります。高山中央ロータリークラブとしては初めての試みとして高校生団体MAPとの交流会を 8 月 19 日に予定しております。打算的な考えではありませんが高校生の SNS を通じ高山中央ロータリークラブの公共イメージ向上を目指すと共に高校生に向けてロータリーとは何か、ロータリアンであることのよろこびなどのお話を通じて会員の皆様にも会員満足度を高めていただき会員増強に向かっていたいただきたいと思います。

●幹事報告

幹事代理 熊崎 元康

◎R I 本部より

・ザ・ロータリアン誌

◎国際ロータリー第 2630 地区

区ガバナー事務所より

・ポリオプラス・ソサエティ

のご案内



◎国際ロータリー第 2630 地区ガバナーエレクト事務所より

・夏季休暇のお知らせ 8 月 10 日(土)～18 日(日)

○ロータリー日本財団より

・確定申告用寄付領収書について

○濃飛グループガバナー補佐より

・ガバナー杯チャリティーゴルフ大会

濃飛グループ予選会のご案内

日時：9 月 23 日 (日・祝)

場所：荘川カントリー倶楽部

<活動計画書>

・高山 RC ・可児 RC

●会員増強委員会 委員長 下田 徳彦

8 月は会員増計月間です。会員増強委員会としましては 1 年を通して 3 つのスケジュールに分けて活動を進めます。まず本日の例会では皆様に会員増強についての意識を高めてもらう目的として、国際ロータリー第 2630 地区の会員増強委員会委員長の亀井様に卓話をし



ていただきます。合わせて同じ部門にあります DEI 推進小委員会に当クラブから出向しています西委員にも卓話をお願いしています。次にオープン例会を親睦委員会とタッグを組んで新入会員の候補となる方をお呼びする予定です。年度の後半には退会防止を目的とした例会を実施する計画です。それでは亀井委員長よりよろしくお願いします。

## ●国際ロータリー第 2630 地区 会員増強委員会 委員長 亀井 和彦 様 (可児ロータリークラブ)

皆さんこんにちは。可児ロータリークラブから来ました亀井です。よろしくお願いします。高山も暑い暑いと皆さん言われていましたが、可児はもっと暑いので今日は非常に過ごしやすく、高山はいいなと思いました。



先程退会される方の話がありましたが、会員増強に秘策はありません。ひとりのロータリアンとして、そしてクラブが学んでいくことが増強につながると思いますので、立派なロータリアンにお互い成長していくことが大事であると思います。

「ガバナー月信 8 月号」でも、なぜロータリアンが増えないのかというというテーマで寄稿いたしました。その理由として今ロータリーが地域から求められてないからだと感じています。ロータリーの価値、本来やるべきことをしっかり地域で果たしていないから、地域も求めないのではないかと感じます。やはり自分たちの地域で職業奉仕を含め、ロータリアンとしてやるべきことをやっていくことが大事であると思います。

世界のロータリー会員数は横ばいですが、日本では人口減少などの社会的要因が大きく、残念ながら減少しています。そのような状況でこれからの会員増強に必要なことは、既成概念を壊すことが必要であると感じています。

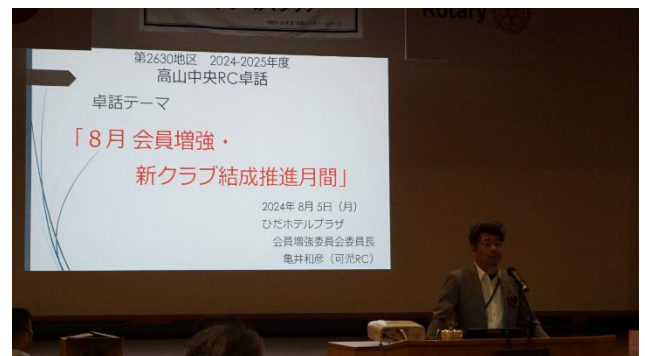
会員が増えているクラブには、次のような特徴があります。クラブに魅力がある、多様性を促進している、魅力のある会員がいる、魅力のある例会を開催している、会長が会員の満足度を意識している、オリジナルの職業奉仕を実践しているなどです。会員増強のためにクラブが使命感を持つことも大切です。例えばロータリー賞を目指す、ロータリー財団の補助事業を申請し地域活動を行う、ガバナーを輩出するなどが非常に大きなクラブ目標になるかと思えます。そして目的に向かうことで、仲良しクラブのフレンドシップからフェローシップに変わり、真の活動や真の親睦となり、しっかりとした奉仕活動に繋がると思えます。

会員数が 50 名以上のクラブの方向性で大切なことは、クラブのビジョンをすべての会員が共有しているということです。多様な会員が活発に交流している、多様性が生きること魅力ある会員を育成している、例会に魅力があり出席率が高い、会長挨拶には職業方針の話があることなどが重要となります。

高山中央クラブがこれから進めることとして、DEI の推進が重要となります。会員数 54 名に対して女性が 3 名ですので、8%を目指して 5~6 人の女性会員が増えるといいと思います。ただ女性を入れるという考えは古く、たまたま優秀な方でロータリーにふさわしいとお誘いしたら、その方が女性だったというのが理想的です。様々な考えを持った方がクラブに参加して、自分の意見を発信し、クラブを活性化させ、みんなの意見を尊重することが DEI ということです。

入会三年未満の会員育成については、残念ながらロータリーのことを理解しないうちに辞めてしまう方が非常に多いのが現状です。ロータリーとはどういうものかということ、年配の経験の長い会員の方が、若い会員の方に教えてあげる関係づくりが非常に大事だと思います。そうすることで、お互いの帰属意識が芽生えます。若い方から年配の方まで世代を超えて活動することは DEI の推進につながりますので、IGM (ファイヤーサイド・ミーティング) などを活用し、お互いの意見が尊重できるクラブを目指すと良いと思います。

今期の会員増強委員会は、会員満足と会員維持というテーマで活動を行っていきます。人と活動に魅力を持たせ、クラブ会員の満足度を高め、すべての会員にとって居心地のいいクラブを作っていくことが、会員満足や会員維持につながります。クラブ会長は、会員の満足、どのような思いで例会に来ているのか、どのような思いでロータリーに入会したのかを認めてあげ、会員の満足を達成していただけるようお願いいたします。



●国際ロータリー第 2630 地区  
DEI 推進小委員会 委員 西 美紀

地区の DEI 推進小委員会委員の西です。去年に続き委員 2 年目となりましたので、少しは話をする事ができるようになりました。よろしくお願いいたします。



DEI というのは、多様性 (Diversity) ・ 公平さ (Equity) ・ 包括性、受容性 (Inclusion) の頭文字を取って DEI と呼ばれています。ロータリーの定義として多様性とは、あらゆる体験を持つ人や幅広い文化、健全なアイデンティティの人を歓迎いたします。公平さとはクラブ会員の公平な扱いと、機会やリソースを保つよう務めています。インクルージョンとはあらゆる人が歓迎されていると感じ、尊重され、会員として大切にされる、クラブの環境作りに力を注ぎます。

そこで DEI を理解し、実践してどのようにクラブを活性化させていくのでしょうか？ここが大事なところですが、多様性は、多様なバックグラウンドの会員で構成されること、職業や年代、性別、ロータリー歴さまざまですが、幅広くそういう方たちを受け入れてください。次の公平さ、クラブにおける公平さというのは、誰もが同じ重みで大切にされているということです。クラブにおける公平さは互いに立場を離れ、意見を言い合える役割がある、必要な情報を得られる、誰もがクラブを楽しめるということが、クラブにおける公平さということです。また、インクルージョンは多種多様な会員が一つの仲間になることです。新しい人、女性、シニアの方でも迎え入れて仲間にする事、それがインクルーシブなクラブの実現になります。

アメリカの多様性提唱者であるヴェルナ・マイヤーズ氏は、ダイバーシティはパーティーに招待されることであり、インクルージョンは一緒に踊ろうと申し込まれることであると、わかりやすく説明しています。

多様な会員の誰もが受け入れられると感じるクラブ、満足できる居心地の良いクラブ、自分らしく参加できるクラブ、こういったクラブがインクルーシブなクラブということで、DEI の実現がされているクラブということになります。DEI は考え、年齢、性別、多様なバックグラウンド、お互いが立場を捨てて意見を言い合い、お互いのために働く、それが DEI ということです。



<8 月のお祝い>

<会員誕生日>

高原 龍士	S 4 8 年	8 月 2 日
水口 邦博	S 5 0 年	8 月 2 日
上田 和史	S 4 0 年	8 月 1 5 日
岩垣津 亘	S 2 9 年	8 月 2 6 日
前越 路子		8 月 2 6 日

<夫人誕生日>

今井 哲也	陽子	8 月 1 8 日
長瀬 栄二郎	まり子	8 月 2 8 日

<結婚記念日>

島 良明	S 5 0 年	8 月 1 5 日
------	---------	-----------



<ニコニコ BOX>

本日はお招き頂き誠にありがとうございます。  
国際ロータリー第 2630 地区会員増強委員長  
**亀井 和彦 様 (可児RC)**

亀井様のご来訪を歓迎致します。後ほどの卓話、  
よろしくお願い致します。 **理事役員一同**

亀井和彦地区会員増強委員長のご来訪を歓迎致  
します。よろしくお願い致します。 **堀口 裕之**

今月は会員増強月間です。本日は、地区会員増強  
委員会 亀井委員長、DEI 推進小委員会 西委員、  
卓話をよろしくお願い致します。 **下田 徳彦**

桑名の石取り祭に来ていて例会に間に合いません  
のでニコニコを通じて・・・国際ロータリー第  
2630 地区会員増強亀井和彦委員長をご紹介します。  
今年度、可児ロータリークラブの会長と地区委  
員長の二刀流として活躍されており、また亀井  
ガバナーとの亀亀(かめかめ)コンビで会員増強  
に強力なリーダーシップを発揮されています。  
前年度は亀井委員長の見事な活躍により第 2630  
地区は 60 人の会員増を果たすことが出来ました。  
私の会員増強委員長年度は 3 年間で 300 人減少  
という結果となりましたが、それを考えると亀  
井委員長の成果はまさに歴史的快挙であり第  
2630 地区の救世主として期待されています。亀  
井委員長のロータリーに対する情熱と熱意は常  
に感じられ本日の卓話、よろしく申し上げます。  
**剣田 廣喜**

昨年のコロナ明けを機に 10 数年ぶりにテニスに  
復帰しましたが先月行われた市の大会で優勝す  
る事が出来ました。このくそ暑い中、怪我無くプ  
レー出来た事に感謝して優勝賞金全額ニコニコ  
へ。  
**鷺塚 英雄**

🎾松山英樹!! 超一流のプレー、銅メダルに感動  
しました。  
**岩本 正樹**

毎日暑い日が続きますが皆様、体調には気を付  
けて下さい。本日、急用で早退させていただきます。  
**松之木 映一**

高山中央ロータリークラブに入会して 13 年、鈴  
鹿市での地区大会、創立 25 周年記念など楽しい  
思い出が色々ありました。その間、皆様には大変  
お世話になりありがとうございました。高山中  
央ロータリークラブ退会後も引き続きよろしく  
お願いします。  
**西倉 良介**